

様式第二十一（第13条関係）

認定事業再編計画の内容の公表

1. 認定をした年月日

令和7年3月21日

2. 認定事業者名

大成ラミック株式会社

3. 事業再編の目標

（1）事業再編に係る事業の目標

（価値観）

当社は、「フィルムの製造販売にとどまらず液体包装のプロフェッショナルとして、刻々変化するお客様のあらゆる包装にかかわる課題を解決する『総合エンジニアリングカンパニー』を目指します」のビジョンの下、フィルムの製造、販売だけではなく、充填機械の製造販売、エンジニアリングサービスをワンストップで顧客に提供している。そして、これまでの経営環境下では日本国内、海外の堅調な景気に支えられ、需要は概ね底堅く推移してきた。しかし、昨今の原材料高騰による利益の圧迫や、持続可能な社会の実現に向けた各地域の規制など、経営環境が想像以上のスピードで変化する中で、社会の要請に応える臨機応変な経営体制の強化が求められる。『中期経営計画 Go forward to The Next Era』では、①既存事業での収益力最大限の発揮、②新たな付加価値の創造、③持続的成長を支える経営基盤の強化を基本方針とし、より高付加価値かつ環境に配慮した製品を供給し続けることで、利益の向上と持続可能な社会の実現に向けた貢献を目指している。

（ビジネスモデル）

フィルム関連事業は、顧客の要求に合わせてプラスチックフィルムの製造、販売を行っており、またフィルムを使用する顧客向けに高速液体充填機の製造、販売、及びエンジニアリングサービスを行っている。しかし、今後、欧州をはじめとする地域では「リサイクル可能な包装材の使用に関する規制」が導入される見通しであり、また、世界的には温暖化ガスの排出量の削減が求められていることから、製品開発、製造及び普及に向けた拡販に特化できるように事業を再編する。これにより、最速、最適な選択が可能となり、欧州の規制を満足する製品や、環境に配慮した製品の迅速な事業化を図る。

（戦略）

欧州に展開している顧客向けには、リサイクルの規制を満足するモノマテリアル製品を早急に提供することで、顧客の事業拡大に貢献するとともに、これらのフィルムに高速で充填できる機械の事業拡大により、顧客の生産性向上にも寄与する。また、日本国内をはじめとする顧客には、石油由来の成分を削減した紙包材等の普及を図ることで、バリューチェーン全体を通じた温暖化ガス排出削減目標の達成を目指す。また、現在当社の充填機を使用している顧客には、改造等不要で使用可能な環境対応フィルムを供給することで、顧客の生産性の維持にも貢献する。これにより、当社の事業を通して環境対応フィルムの普及を目指す。

（持続可能性・成長性）

世界的な生活の質の向上により、液体小袋包装の需要は伸びると予想されており、一方でリサイクルや温暖化ガス排出抑制の要求は高まっていることから、これらの要求を満足する製品を迅速に供給できる体制を構築することで、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、事業としての成長を目指す。

（ガバナンス）

上記に掲げた事業再編計画の実施にあたり、執行部門と監督部門の責任と権限を明確に分離し、事業会社では迅速な執行を行い、持株会社では監督を行うことで、事業再編計画の進捗を適時適切にモニタリングできる体制を構築する。

以上より、当社の経営資源の最適配置によって生産性の向上並びに付加価値創出を図り、グループ全体の企業価値の更なる向上を目指す。

(2) 生産性の向上、需要の開拓及び財務内容の健全性の向上を示す数値目標
(成果と重要な成果指標(KPI))

計画の対象となる事業の生産性向上として、令和9年度には令和5年度に比べて、従業員1人あたり付加価値額を24.3%向上させることを目標とする。

財務内容の健全性の向上としては、令和9年度において当社の有利子負債はキャッシュフローの▲3.7倍、経常収支比率は111.7%となる予定である。

4. 事業再編の内容

(1) 事業再編に係る事業の内容

① 計画の対象となる事業

フィルムの開発、製造事業、並びに機械製造及びフィルム、機械販売事業

＜選定の理由＞

当社は、液体小袋包装向けを中心としたラミネートフィルムの開発、製造、販売を主力事業として行ってきたが、世界的な環境規制の進展により、既存の製品で要求を満足できない場合、事業縮小の虞がある。これに対応するため、環境対応製品の開発、並びに早急な事業展開を行うことで持続可能な社会の実現に貢献するとともに、液体小袋包装に関するバリューチェーン全体の更なる発展を目指し、本取組みを実施するに至った。

② 実施する事業の構造の変更と分野又は方式の変更の内容

大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社は、当社よりフィルムの開発、製造事業の承継を受けることで、フィルムの開発、及び製造に関する生産性の向上に専念し、競争力、収益力の強化を図る。特に、環境対応フィルムの開発スピードを加速させることで、石油由来の原材料削減による温暖化ガス排出抑制や、リサイクル可能かつ要求性能を満たすモノマテリアルフィルムの普及による持続可能な社会の実現に貢献する。大成ラミック販売及び機械製造分割準備株式会社は、当社より販売、及び機械製造事業の承継を受けることで、顧客の課題解決に向け迅速な経営の意思決定ができる体制を構築し、事業領域の拡大を含むサービスの向上を図る。特に環境対応フィルムについては、プロモーションの強化を行い、プラスチックを扱う業者として持続可能な社会の実現に向け、積極的に普及を目指す。

なお、当該事業再編計画による生産性の向上は当該事業分野における市場構造に照らしても持続的なものと見込まれる。

また、当該事業分野は過剰供給構造ではなく、さらに一般消費者及び関連事業者の利益を不当に害するおそれがあるものではない。

(事業の構造の変更)

- ・フィルムの開発、製造事業の承継（株式を対価とする吸収分割）

＜分割会社＞

名称：大成ラミック株式会社

(令和7年4月1日より、大成ラミックグループ株式会社に名称変更)

住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1

代表者の氏名：代表取締役社長 長谷部 正

資本金：3,426,246,500円

＜承継会社＞

名称：大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社

(令和7年4月1日より、DANGANフィルム株式会社に名称変更)

住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1

代表者の氏名：代表取締役社長 長谷部 正 (令和7年4月1日より、富田 一郎)

資本金：10,000,000円

承継予定日：令和7年4月1日

- ・フィルムの販売、及び機械の製造、販売事業の承継（株式を対価とする吸収分割）
〈分割会社〉

名称：大成ラミック株式会社

（令和7年4月1日より、大成ラミックグループ株式会社に名称変更）

住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1

代表者の氏名：代表取締役社長 長谷部 正

資本金：3,426,246,500円

〈承継会社〉

名称：大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社

（令和7年4月1日より、大成ラミック株式会社に名称変更）

住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1

代表者の氏名：代表取締役社長 長谷部 正（令和7年4月1日より、土屋 和男）

資本金：分割前：10,000,000円

分割後：310,000,000円

発行する株式を引き受ける者：大成ラミック株式会社（令和7年4月1日より、大成ラミックグループ株式会社に名称変更）

承継予定日：令和7年4月1日

（事業の分野又は方式の変更）

フィルム開発、製造、販売の事業を各事業会社に承継することで、大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社では、液体小袋包装向けの環境対応フィルムの開発と製造を、大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社では環境対応フィルムのプロモーション活動を迅速に執行できる体制を構築する。具体的には、欧州をはじめとするリサイクルに関する規制に対応するため、欧州に製造、販売拠点をもち顧客向けに、内容物によって異なる要求を満たすモノマテリアルフィルムの開発、製造、販売を行い、それらの地域での液体小袋包装の顧客の拡販に貢献する。特に、日本食の知名度向上により、醤油をはじめとする液体調味料の需要は増えており、規制に対応した液体小袋包装を用いることで、域内での流通を促進させる。また、日本国内をはじめとする石油由来のフィルムによる温暖化ガス排出の抑制を目指す顧客向けには、紙包材による液体小袋包装の開発、製造、販売を行い、バリューチェーン全体での環境対応に貢献する。これらの施策により、令和9年度に新たな環境対応フィルム（モノマテリアル、紙包材）の売上が全体の売上高の1.4%以上となることを目標とする。

（2）事業再編を行う場所の住所

埼玉県白岡市下大崎873番地1

大成ラミック株式会社

埼玉県白岡市下大崎873番地1

大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社

埼玉県白岡市下大崎873番地1

大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社

（3）関係事業者・外国関係法人に関する事項

大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社

大成ラミック株式会社は発行株式総数の100%を保有しており関係事業者に該当する。

大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社

大成ラミック株式会社は発行株式総数の100%を保有しており関係事業者に該当する。

(4) 事業再編を実施するための措置の内容
別表1のとおり

5. 事業再編の実施時期

開始時期：令和7年4月

終了時期：令和10年3月

6. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数（令和7年2月末時点）

大成ラミック株式会社 : 713名

大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社 : 0名

大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社 : 0名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

大成ラミック株式会社

（令和7年4月1日より、大成ラミックグループ株式会社） : 53名

大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社

（令和7年4月1日より、DANGANフィルム株式会社） : 443名

大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社

（令和7年4月1日より、大成ラミック株式会社） : 253名

(3) 事業再編に充てる予定の従業員数

大成ラミック株式会社 : 53名

大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社 : 443名

大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社 : 253名

(4) (3) 中、新規採用される従業員数

大成ラミック株式会社 : 11名

大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社 : 15名

大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社 : 23名

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇される従業員数

出向予定人数 : 668名

（大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社：436名

大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社：232名）

転籍予定人数 : なし

解雇予定人数 : なし

7. その他

該当なし

別表 1

事業再編の措置の内容

措置事項		実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
法第2条第17項第1号の要件			
	ロ 会社の分割	① 分割会社： 名称：大成ラミック株式会社 (令和7年4月1日より、大成ラミックグループ株式会社) 住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1 代表者氏名：代表取締役 長谷部 正 資本金：3,426,246,500円 ② 承継会社： 名称：大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社 (令和7年4月1日より、DANGANフィルム株式会社) 住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1 代表者氏名：代表取締役 長谷部 正 分割前の資本金：10,000,000円 分割後の資本金：10,000,000円 ③ 発行する株式を引き受ける者：大成ラミック株式会社 ④ 分割予定日：令和7年4月1日	租税特別措置法第80条第1項第6号(会社分割に伴う不動産の所有権の移転登記等の税率の軽減)
	ロ 会社の分割	① 分割会社： 名称：大成ラミック株式会社 (令和7年4月1日より、大成ラミックグループ株式会社) 住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1 代表者氏名：代表取締役 長谷部 正 資本金：3,426,246,500円 ② 承継会社： 名称：大成ラミックフィルム販売及び機械製造分割準備株式会社 (令和7年4月1日より、大成ラミック株式会社) 住所：埼玉県白岡市下大崎873番地1 代表者氏名：代表取締役 長谷部 正 分割前の資本金：10,000,000円 分割後の資本金：310,000,000円 ③ 発行する株式を引き受ける者：大成ラミック株式会社 ④ 分割予定日：令和7年4月1日	租税特別措置法第80条第1項第3号(認定事業再編計画等に基づき行う登記の税率の軽減) 租税特別措置法第80条第1項第6号(会社分割に伴う不動産の所有権の移転登記等の税率の軽減)
法第2条第17項第2号の要件			
	イ 新商品の開発及び生産又は新たな役務の開発及び提供による生産若しく	大成ラミックフィルム製造分割準備株式会社は環境対応フィルムの開発と製造を担い、大成ラミックフィルム販売及び機械製造	

	は販売に係る商品の構成又は提供に係る役務の構成の変化	分割準備株式会社は、日本国内、及び海外向けに環境対応フィルムのプロモーション活動を行うことで、既存品からの切換えと新規顧客の開拓を担う。特に、欧州向けには、日本食の普及により、醤油をはじめとする液体調味料用の液体小袋需要は増えている。また、日本をはじめとした顧客向けには、温暖化ガスの排出抑制を目的に、石油由来の成分を削減させた紙包材の液体小袋包装を提供することで、バリューチェーン全体の環境対応に貢献する。これにより、令和9年度に環境対応フィルムの売上高をグループ全体の売上高の1.4%以上とする。	
--	-----------------------------------	---	--